

もり りんやちょう
〈森林でのお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）〉



チャオ御嶽スキー場からの乗鞍岳

「飛騨森林管理署 上ヶ洞森林事務所」

首席森林官 上島 弘幸
 上ヶ洞森林事務所は、高山市の南東部に位置し、約九、九一九へんを管轄しています。

シリーズ
「森林官からの便り」

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

管轄する国有林は、高山市の旧高根村に点在しており、標高八八〇mから二、七〇〇mの間にあつて、乗鞍岳（標高三、〇二六m）から御嶽山（標高三、〇六二m）の山麓にあります。東側は稜線を挟んで長野県に接し、北側は、高山市旧丹生川村と、南・西側は、高山市旧朝日村に囲まれています。



飛騨御嶽尚子ボルダールoad記念碑



ウッドチップランニングコース

管内には、チャオ御嶽スキーリゾート・高地トレーニングセンターがあり、標高一、八〇〇mの環境を利用し、心肺機能を高め、持久力の向上を図れます。

ウッドチップランニングコースは、木材チップのクッションで走りやすく、飛騨御嶽尚子ボルダールoadと併用すると一周五kmのコースを設定することもできます。二年後の東京オリンピックに向けた練習拠点として、多くの国々のアスリートに利用されています。八月には、箱根駅伝で活躍している青山学院大学も練習に利用しています。

管内では、継子岳経由で御嶽山へ登る日和田口登山道の利用がある一方、自然の恵みを求め、山探り・魚釣りに夢中になり、行方不明になる事件が毎年発生していることから、高山市・消防団・駐在所と連携を取りながら事故防止の啓発活動に努めているところです。

当森林事務所は、森林官、行政専門員、非常勤職員の三名体制で、生産・造林請負事業の監督、各種調査、境界巡検・巡視などの業務に取り組むほか、隣接森林事務所への応援なども行っています。

また、今年度は、「第六次官・庄川地域管理経営計画」等の予備

編成にあたりますので、伐採、造林、更新関係を中心に現場を調査するなど、本編成に向けしっかりと準備していく予定です。

これから 厳しい冬期を迎える中、健康と安全第一で明るく業務に取り組んでいきたいと考えています。

■未来の担い手へのメッセージ
 森林を整備することは、まさに、自然災害などから日本の国土を守り、国民が安心して生活ができる環境を作ることです。国有林は国民からは直接、目にするものの少ない財産ですが、私は、誇りを持って業務に取り組んでいます。

是非林野庁に入っていたら一緒に取り組んでいきましょう。



上ヶ洞森林事務所の三名（左端筆者）

もり
〈森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



有限会社ヤマカ木材

荒木 あらかき 大輔 だいすけ

(二〇一四年入社)



伐倒作業の合間の荒木さん

■事業の概要

請負事業：製品生産請負事業
 (伐採・造林一貫作業南木曾2
 柿其)

発注者：南木曾支署

事業地は、柿其国有林三二に林小班ほか、主に樹齢八十年生以上の木曾ひのきを間伐、架線集材に搬出します。また、二・四二鈔

の伐採造林一貫作業や約二二鈔の列状間伐も含まれ、全搬出材積は五四七〇立方メートルにもなる非常に大きな現場です。

この現場から搬出される木材の一部は中部森林管理局のブランド材である「**高木曾ひのき**」として販売され、高品質な住宅構造材などとして利用されます。

■現場での役割・魅力

主にヒノキの伐倒と架線による集材を行っています。職場では近年若手が多数採用されましたので、歳の近い仲間が数多くいます。一方で、上は八十歳に近い大ベテランまで幅広い人材がいますが、中堅クラスの先輩があまりいないという状況にあり、現場を支える中堅へと早急な成長を望まれているように感じます。

しかし、天然木曾ひのき等、巨木の伐倒や一から林業架線を作り上げる技術は非常に難しく、すぐにものできることはないように感じます。その場その場で違う木の特徴や地形、地質、林道の位置や機械の配置等によって作業方法は千差万別で、これが正しい方

法だというような明確な答えはないように思います。そうした状況を切り抜け、材木を安定的に搬出するために基礎をしっかりと身に付け、それらを応用して問題を解決する方法を考える力が必要になると思います。生産性向上の必要性から、先輩方が作業に集中し、マンツーマンでゆっくり教えてもらえる機会は減りましたが、一つの機会を大切に、しっかりと技術を身につけて現場を支える技術者になれるよう、頑張りたいです。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私の父親が自営で木材販売をし



高性能自走式搬器による架線集材

ていて、幼少のころより木とは縁がありました。大学で学ぶため関東に出ていた時もありましたが、元々、地元志向が強く、木曾に帰ったら伝統である木曾ひのきに携わる仕事がしたいと考えたのがきっかけです。

■未来の担い手へのメッセージ

林業という仕事は教科書通りに、教えられた通りにやるだけではできない「答えのない仕事」だと思います。そして、とても危険な仕事です。作業には私たちの命がかかっている、会社全員で力を合わせて出した丸太にはとても価値があると思っており、やりがいを感じています。

私もまだまだ若く、修行中の身ではありますが、日々安全に頑張っています。

林業の未来が明るくなるよう、一緒に頑張りたいです。



これからヒノキの伐採です

もり
〈森林でのお仕事紹介コーナー（林業土木）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



株式会社 北原組

北原 将士
きたはら まさし
 (二〇一六年入社)



この工事中に家族が増えました。

■事業の概要

請負工事：湯沢水源地域整備工事

発注者：東信森林管理署

本工事は、水源涵養保安林で八ヶ岳中信高原国定公園特別保護地区であり、観光地の双子池湖畔の斜面に発生した崩落地で、土留工・水路工を設置し、土砂の生産・流出を防止するとともに、水



雪深く、一年のうち7ヶ月しか作業できません。雨も多く濁水処理には気を使いました。

■現場での役割・魅力
 土保全機能の高い森林に造成・復元する目的の工事です。

私は入社後間もなく作業員として本工事に携わりました。国有林の自然は毎日表情を変え、穏やかな日もあれば、厳しい雷雨で道が流されてしまい現場まで辿り着かない日もありました。また、積雪で思うように進まないことも多々ありました。

そんな頭を悩ませる毎日の作業も働く仲間と話し合い問題を解決し、無事完成したときは込み上げる思いが沢山ありました。そして、森林が再び自然の力を発揮できるよう修理をしてあげたような達成感がありました。地球修理屋さんになって本当に

良かったと思えました。

■林業土木の世界に

入ったきつかけ 私が建設業界に入ったきつかけは、弊社の社長の娘と結婚したからです。

それまでは、埼玉県の病院で介護の仕事に携わっていました。内勤で働いていた私は、外仕事に多少の抵抗と不安があったのですが、義理のお父さんにノーと言えずにこの道に入りました。

慣れない仕事に不安ばかりでしたが、近所の焼肉屋の美味しい石焼カレーで釣られ決心しました。やっぱり人間は綺麗な人と美味しい物には惹かれます(笑)



標高2,030m双子池(雄池) 綺麗な景観を守るために

■未来の担い手へのメッセージ

建設業も人手不足という大きな問題を抱えています。

確かに、夏は暑いし冬は寒い。体力仕事に魅力なんて感じる事ができないかもしれません。

しかし、建設業にはやってみなければわからない魅力がたくさんあります。

私は今、あれほど抵抗を持っていたこの世界に誘ってくれた社長に感謝しているほどです。



国有林ではありません。社長の山です。

森林には「幸」がいっぱいあります。蕨・茸などの山菜や、鹿・熊などのジビエ。

そして、何より空気が美味しいのが一番です。

故郷の青森も素敵ですが長野も「半端ねえ」と実感しました。

みなさんは非この魅力溢れる建設業と一緒に働きましょう。